



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.131

平成 29 年（2017 年）9 月 23 日発行

### ■秋分（しゅうぶん） 9 月 23 日から 10 月 7 日までの節気

「秋分」の節気です。

「秋分の日」と「春分の日」は昼と夜の長さがほぼ同じになります。「秋分の日」からは昼間の時間が少しずつ短くなりながら冬に向かっていきます。寒く冷たい冬へ向かうのと明るく暑い夏に向かうのとではずいぶんと気持ちも違います。

そろそろ稲刈りの時季ですね。9 月 10 日～11 日に仲間と妙高に行ってきました。目的は時季外れの酒蔵見学でした。小さな酒蔵ですが社長さんから丁寧な説明を受け、改めて自然の豊かな恵みを先人のたゆまぬ知恵と努力と工夫で造られる日本酒の素晴らしさを実感しました。

それと、この見学でもうひとつ素晴らしい体験ができました。それは妙高を遠くに見ながら辺りの田圃がまさに稲刈り前の黄金色の稲穂で埋め尽くされている光景でした。ここまで広大な面積の田圃を見たのは初めての経験ですが米どころ新潟の面目躍如といったところです。当然、この蔵元では契約農家と自前の田圃でできた米を酒米として使用しているとのことでした。

あれから約 2 週間、精米もはじまり、新種づくりに入っているでしょう。いいお酒ができることを願います。

9 月 23 日（土）は国民の祝日「秋分の日」であり、秋の彼岸の中日です。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように、この頃から本格的な秋が訪れます。店頭には、梨やリンゴ、柿、栗などの秋の味覚もそろいだし、賑わっています。本当に秋は旬の食材も多く、そろそろ鍋など食事が楽しくなりますね。

10 月 4 日（水）は「十五夜」です。旧暦の 8 月 15 日は今年の新暦では 10 月 4 日にあたります。

本当に日本人は「月を愛でる」国民だと思います。満月（十五日月・望）だ

けでなく、二日月、三日月、七日月（上弦）、十三日月（十三夜月）、十四日月（小望月）、十六日月（十六夜）、十七日月（立待月）、十八日月（居待月）、十九日月（寝待月）二十日月（更待月）、二十三日月（下弦）、三十日月と月の満ち欠けを楽しむ国民性があります。これから、秋の澄んだ夜空を見上げ、いろいろな月を楽しんでみませんか。そして10月4日は晴れるといいですね。  
※各月の詳細は「ともいき暦」のトップページの右下に記してある月の満ち欠けをクリックしてください。

(<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2017/>)

ちなみに、今年の「十三夜」は11月1日（水）、「十日夜」は11月27日（月）です。

最後に、今年の紅葉の見ごろが9月6日、気象庁から第1回が発表されました。気象庁によると、「今年の秋（9～11月）の気温は、前半は平年よりも高い所が多いですが、後半は平年並に近づく所が多い見込みです。このため、北日本から西日本にかけての紅葉の見ごろは、平年並の所が多いでしょう。」という予測です。

春は桜が北上し、秋は紅葉が南下する、日本列島が黄色や赤色や橙色で染まっていく様子を宇宙から見られたらいいですね。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

★毎月の「満月の日」を「ともいきの日」に。

NPO PTPL では毎年旧元日を「ともいきの日」として、日本の自然観・生命観を世界へ発進・訴求・啓蒙する日としていますが、「ともいき」という価値観をもう一度強く取り戻し、誇りと自信を持って世界へ広めていくためにも日本人らしからぬ日本人が多くなってきている現在、まず。日本人にこの自然観・生命観をもう一度しっかりと理解してもらわなければなりません。

そのためにも年に1回の「ともいきの日」だけでなく、毎月の「満月の日」も「ともいきの日」とし、満月を見上げることにより、太陽に照らされて光り輝

く月を感じ、夜空の星たちを感じ、自然の神秘や不思議さに目を見張る感性を育てる日としましょう。自然の一部としての人間が経済至上主義のグローバル化が急速に進展し、混沌としている現在の社会において、自然とどのように関わっていくのか、関わっていくべきかを考え、模索する日でもあります。

季節の移ろいを身体で感じ、自然を観賞・観察する習慣を身につけましょう。その「小さな動き」が大きな「うねり」、「ジャパネスク」へ動き出すでしょう。皆さんも毎月の「ともいきの日」を大切にしてください。

※「ともいき暦」の表紙1月28日の「ともいき」のロゴマークをクリックして、旧元日、「ともいきの日」をお読みください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2017/>

★65歳以上の高齢者にもっと働いてもらおう手だてを考えましょう。

9月18日(月)の敬老の日の前に、総務省が17日に発表した人口統計によると、9月15日(金)時点で、国内の90歳以上の人口が初めて200万人を突破し、前年よりも14万人多い206万人となったそうです。

仕事についていた65歳以上の高齢者は、同省の労働力調査で過去最高の770万人に達し、一年間で38万人増加しました。(100歳以上の人口は67.824人です。)しかし、まだまだ高齢者の働く場所は多々あると考えます。

老人の豊かな経験や知恵や知識、そして技術をもっと利用する手立てを「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」(ジャパネス)の精神をもって考えていくべきだと思います。

いかがでしょうか?!!

高齢者が毎日生き生きと明るく生活すること、大切です。

# ジャパネスク



<http://www.japanesque.tokyo/>

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●梨のおすそわけ

先日、友だちの実家から梨が送られ、おすそわけをいただきました。大きな玉で、甘い梨でした。正直、実家で旬のものが取れる畑がある友人がうらやましいです。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

●NPO PTPL は「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」

(<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>) をお読みください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp